

令和8年3月6日

保護者 様

松山市立番町小学校

校長 井上 和豊

令和7年度 後期学校教育アンケート（保護者）の集計結果と考察について

早春の候、保護者の皆様におかれましては、御健勝のことと拝察いたします。今年度も学校教育に深い御理解と御支援をいただき、感謝申し上げます。

さて、2学期以降、前期学校教育アンケートや自己評価をもとに、下記の重点改善指導事項を掲げ、取り組んでまいりました。取組を検証する資料とするために行った後期学校教育アンケートに御協力いただき、誠にありがとうございました。アンケート結果がまとまりましたのでお知らせいたします。アンケート結果（裏面参照）やいただきました御意見を次年度の教育計画の立案や学校運営に生かしてまいりたいと考えています。今後とも保護者の皆様の御理解、御協力をよろしくお願いいたします。

1 【2学期以降の重点指導事項について】

①優しさとぬくもりのある子 <こころをみがく>

自他のよさを知り、よりよく関わることのできる児童を育成します！

- ・支持的風土の仲間づくり
- ・自他を思いやる心の育成
- ・心をつなぐ挨拶の習慣化

②健康で安全に生活する子 <からだをみがく>

「命はひとつ」を合言葉に、自他の命を大切にできる児童を育てます！

- ・地域と連携した安全教育
- ・健やかな体を育む教育の充実
- ・主体的・継続的な体力づくり

③自ら学び伸びゆく子 <あたまをみがく>

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、授業改善に努めます！

- ・学び合い、高めあう授業づくり
- ・基礎学力の定着と向上
- ・地域及び近隣4校との連携推進

2 【アンケート集計結果及び考察】

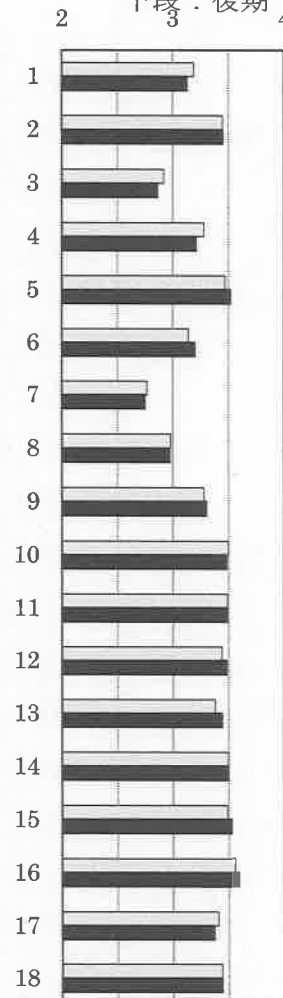
【保護者アンケート集計結果】＜後期学校教育アンケート(R8.1月実施)＞

※アンケート回答 213/317 回収率 67%

	質 問 内 容	R7 前期	R7 後期
1	自分から進んであいさつがよくできている。	3.13	3.09→
2	友達にやさしくでき、思いやりのある子に育っている。	3.48	3.43→
3	苦手なことにも粘り強く取り組んでいる。	2.95	2.89↓
4	遊びや運動を通して、進んで体力づくりに取り組んでいる。	3.27	3.24→
5	学校のきまりや約束を守り、危険なことをしないようにしている。	3.48	3.49→
6	早寝・早起き・朝ご飯等、基本的な生活習慣が身に付いている。	3.22	3.21→
7	人の話をよく聞いて、進んで自分の考えを発表している。	2.89	2.85→
8	学習したことや考えたことをノートなどにきちんと書いている。	2.98	2.97→
9	宿題などの家庭学習の習慣が身に付いている。	3.42	3.28↓
10	楽しく分かりやすい授業になるように努めている。	3.66	3.44↓
11	授業や家庭学習でタブレット等を効果的に活用している。	3.59	3.45↓
12	お子さんの困っていること等に対して適切に対応してくれる。	3.55	3.45↓
13	いじめ等につながる問題の早期発見、解決に努めている。	3.47	3.38→
14	子どもにとって楽しい学びの場となっている。	3.58	3.46↓
15	安心して子どもを通わせることができる学校である。	3.56	3.51→
16	学校・学級便りやホームページなどで、いろいろな情報を発信し、保護者や地域と連携・協力しようとしている。	3.62	3.54↓
17	学校と協力しながら、あいさつ、言葉づかい等の基本的生活習慣や学習習慣の定着に向けて、子どもの指導に努めている。	3.46	3.36↓
18	授業参観、学級懇談、PTA活動などに積極的に参加している。	3.55	3.49→

グラフ上段：前期

下段：後期



【保護者アンケート：考察】

今回の評価結果から、子供たちは全体として落ち着いた学校生活を送り、基本的な生活習慣や人との関わりを着実に身に付けていることが読み取れます。あいさつや生活リズム、安全意識、友達への思いやりといった項目は前期・後期を通して高い水準を維持しており、学校が安心して過ごせる場として機能している点は大きな成果であると感じます。

一方で、苦手なことへの粘り強い取り組みや、自分の考えを発表する力、家庭学習の習慣といった学習面に関する項目では、数値がわずかに低下しています。しかしこれは、子供たちの成長とともに学習内容や求められる力が高度化し、評価の視点がより厳しくなってきた結果とも捉えられます。単なる後退ではなく、「次の段階に進もうとしている過程」で現れた変化であり、今後の伸びしろを示すものと考えられます。

また、授業の分かりやすさやタブレットの活用、学校からの情報発信などの項目においても評価は依然として高く、保護者からの信頼が厚いことが伺えます。数値の変動は、学校への期待が高いからこそ表れたものであり、より良い教育環境を求める前向きな声として受け止めることができます。

今後は、学校と家庭がこれまで以上に連携し、子ども一人一人のペースや個性を大切にしながら、学習への主体性や継続力を育てていくことが重要だと感じます。安心感のある土台の上で、小さな成功体験を積み重ねていくことで、子供たちの意欲と自信は更に高まっていくはずです。全体として、本校が子供たちの健やかな成長を支える学びの場であり続けていることを実感できる、前向きな評価結果であると言えます。

3 【児童アンケート集計結果及び考察】

【児童アンケート集計結果】＜後期学校教育アンケート(R8.2月実施)＞

※アンケート回答 307/316 回収率 97%



【児童アンケート：考察】

多くの項目で平均 3.5 前後（4 段階評価）を維持しており、全体としては概ね良好な状況が見られました。特に、「友達にやさしくしている」「学校のきまりを守っている」「いじめ問題に真剣に取り組んでいる」「学校は安全で安心できる」などの項目は引き続き高水準を保っており、基本的な生活態度や安心感は概ね定着していると捉えております。また、保護者の学校行事への参加に関する項目も高い評価を維持しており、家庭との連携は本校の強みの一つであると考えております。

一方で、前期と比較すると、全体的にわずかな低下傾向が見られました。特に、「授業中によく聞き、進んで発表する」「早寝・早起き・朝ご飯に気を付けている」「困ったことを相談するとききちんと対応してくれる」といった項目で低下が見られ、学習への取り組み方、基本的な生活習慣、心理的な安心感の面に課題がうかがえます。

今後も、主体的・対話的な学びを意識した授業改善、生活習慣の定着に向けた家庭との連携強化、日常的な声掛けや教育相談体制の充実などを通して、よりよい学校づくりを進めていきます。

4 【保護者アンケート自由記述について】

皆様から貴重な御意見をいただきました。抜粋して掲載いたします。

※ ○…家庭からの御意見 ◆…学校としての考え方

○ 運動会のリレー選手及びドリーム音楽会の楽器の選出について

◆ 学校では、子供たち一人一人の個性や意欲、これまでの経験などを踏まえながら、できる限り公平で、全ての子供たちに活躍の機会が行き渡るよう配慮して役割を決定しております。しかしながら、集団での活動であるため、全てのご希望にお応えすることが難しい場合もございます。今後もより良い教育活動となるよう努めてまいりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

○ 引き渡し訓練について

◆ 本校では、地震や風水害などの災害発生時に、子供たちの命と安全を確実に守ることを目的として、毎年引き渡し訓練を実施しております。非常時には、想定どおりに進まない状況の中で、臨機応変な判断と対応が求められます。いただいたご意見は真摯に受け止め、今後の改善に生かしてまいります。引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。

○ 担任の先生の言葉遣いについて

◆ 本校の教職員は、日頃から子供たち一人一人の思いを大切に、寄り添った指導を心掛けて日々教育活動にあたっております。その中で、子供たちとの関わり方や受け止め方について、更に配慮が求められる場面があったことにつきましては、学校として共有し、振り返りを行っております。今後も教職員同士で確認し合いながら、より丁寧で温かな対応ができるよう努めてまいります。お気付きの点がございましたら、今後もお知らせいただければ幸いです。

○ 参観日について

◆ 保護者の私語が気になるというご意見がありました。参観授業中は、子供たちが安心して学べるよう、私語はお控えください。ご意見やご質問は終了後にお願いいたします。授業の妨げや周囲へのご配慮としてご協力ください。

★ 学校からのお願い

登下校は徒歩または公共交通機関の利用をお願いしております。特別な事情がある場合は学校にご相談いただくことになっており、その場合は、敷地内（体育館前等）で乗車及び降車していただくようにしております。二番町通りや学校周辺の道路での送迎について、通行人（車）からの苦情や松山東警察署からの指導も学校に入っております。交通安全の観点から、やむを得ない場合は、近隣の有料駐車場等を適正に利用していただきますようお願いいたします。